

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

部門名： 働き方改革実践部門	エントリー名： 厚沢部町立厚沢部小学校 松村 浩良 平成 30 年度第 4 回副校長・教頭等研修
活動名： SWOT 分析で働き方改革 ～強みを生かしたかけ算の学校運営～	
解決すべき課題： 本校は、時間外勤務が常態化しており、特に、平成 30 年 9、10 月における月当たりの時間外勤務時間の平均が約 57 時間になっていた。9、10 月は学校行事の準備、公開研究会に向けての指導案作成、生徒指導上の諸問題が発生していたことが要因である。働き方改革については、平成 30 年度第 4 回副校長・教頭等研修「学校ビジョンと戦略」で、学校の内外環境の分析（SWOT 分析）や学校の業務改善について学んだ。	
目標・方針： 教頭が中心となって、本校の内部環境の強み（Strength 以下 S）、外部環境の支援的要因（Opportunity 以下 O）を生かした働き方改革を推進し、効果的な教育活動を推進する。また、月当たりの時間外勤務時間について前年同月比 10 時間削減、月 45 時間の時間外勤務を超過する教職員の割合について前年同月比 20%削減を目標とする。さらに、時間外勤務を削減するだけでなく、働き方に関する課題を解決することにより、教職員の学校運営参画意識の向上を推進する。	
活動内容： （1）SWOT 分析による自校の強みの把握 第 1 回（4 月）：テーマ別研修会で 3～4 人のグループを編成し、SWOT 分析を行った。 第 2 回（5 月）：SWOT 分析の結果、自校の強み（S、O）について重視していく項目をまとめた。（図 1、図 2） （2）時間外勤務の要因となる業務の把握、強みを生かした働き方改革の提示 第 1 回（6 月）：各分掌の部長が集まり、学校運営に関する協議を主とする部会（以下、総合推進部会）で時間外勤務の要因となる主な業務について意見を出した。 第 2 回（7 月）：総合推進部会で時間外勤務の要因となる主な業務をまとめた。（図 3） 第 3 回（8 月）：総合推進部会で教頭が強みを生かしたかけ算の学校運営を提示した。（図 4） 教頭が働き方改革に関する各取組の担当者を提示した。	
活動の成果： （1）強みを生かした働き方改革に関する取組を式に表すことで見える化でき、全教職員で共有できた。 （2）9、10 月の時間外勤務時間について、前年同月比 10 時間削減を達成できた。（図 5） （3）9、10 月の月 45 時間の時間外勤務を超過する教職員の割合について、前年同月比 20%削減を達成できた。（図 6） （4）強みを生かした働き方改革を推進することにより、教職員の学校運営参画意識が高まった。（図 7）	
アピールポイント（アイデアや工夫）： ・全教職員で SWOT 分析を行い、自校の強みを把握した点 ・自校の強みを働き方改革に生かした点 ・働き方改革の取組を式に表し、見える化した点 ・働き方改革により、数値目標が達成できた点 ・働き方改革を学校運営参画意識の向上につなげた点	

